

第2期草津市国民健康保険保健事業推進計画(計画期間:令和6年度～令和11年度)は、草津市国民健康保険被保険者の健康の保持増進、医療費の適正化を目指して策定しており、毎年進捗管理を行い、PDCAサイクルにより事業の改善を図りながら保健事業を推進しています。令和8年度は、計画に定める中間評価の年度になることから、成果指標等の達成状況を踏まえて、中間評価を実施します。

第2期草津市国民健康保険保健事業推進計画

計画期間:令和6年度～令和11年度

- データヘルス計画
【国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針第5(保険者の努力義務)】
- 特定健康診査等実施計画
【高齢者の医療の確保に関する法律第19条(保険者の義務)】



草津市たび丸

◆長期目標・中期目標の状況

目標項目	策定時	R8中間評価時		目標値 R11年度	R11年度の目標値に対する評価 A:目標達成見込 B:改善 C:大きな変化なし D:悪化	
		実績値	年度			
長期目標	健康寿命の延伸	男性: 81.82歳 女性: 85.88歳	男性: 81.62歳 女性: 85.86歳	R6	健康寿命の延伸	C:大きな変化なし 策定時と大きな変化はないが、毎年個別の保健事業の評価と改善を行うことができており、今後も取組を継続していく。
中期目標	メタボリックシンドローム該当者・予備軍の減少	27.6%	29.0%	R7	21.8%	D:悪化 特定健診受診者の増加に伴い新規受診者も増加し、メタボリックシンドローム該当者・予備軍の対象者が増えたと考えられる。今後、メタボリックシンドローム該当者・予備軍等生活習慣病のハイリスク者に対して保健指導等を実施していく。
	新規人工透析患者数の減少	10人	3人	R7	9人未満	A:目標達成見込 目標値を達成しているが、引き続き、重症化予防の取組を行っていく。

◆各事業の成果指標(全22項目)にかかる中間評価の結果

第2期草津市国民健康保険保健事業推進計画に定める各事業の成果指標(全22項目)の評価は、下記のとおり、「A:目標達成見込」が6項目、「B:改善」が8項目、「C:大きな変化なし」が6項目、「D:悪化」が2項目でした。

A	目標達成見込	6項目	③3年連続未受診者割合、⑤40歳代の健診受診率、⑩血圧が保健指導判定値以上の方の割合、⑰糖尿病性腎症重症化予防対象者の医療機関受診率、⑳重複・頻回受診者・重複服薬者のレセプト改善率、㉑ジェネリック医薬品の利用率
B	改善	8項目	②特定健診受診率、④特定健診未受診者かつ医療機関受診なしの者の割合、⑩胃がん検診受診率、⑪子宮頸がん検診受診率、⑫乳がん検診受診率、⑬大腸がん検診受診率、⑭肺がん・結核検診受診率、㉒50歳以上74歳以下における咀嚼良好者の割合
C	大きな変化なし	6項目	①週に1回(30分以上)は運動をしている市民の割合、⑥特定保健指導実施率、⑦特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率、⑧動機付け支援実施率、⑨積極的支援実施率、⑱HbA1c8.0%以上の方の割合
D	悪化	2項目	⑮高血糖者の割合、⑲HbA1c6.5%以上の方のうち、糖尿病のレセプトがない方の割合

第2期草津市国民健康保険保健事業推進計画 中間評価

◆中間評価の結果一覧(成果指標(全22項目))

方針	方向性	No.	成果指標	策定時	R8中間評価時		目標値		R8年度の目標値に対する評価 A:目標達成見込 B:改善 C:大きな変化なし D:悪化	
					実績値	年度	R8年度	R11年度		
健康づくり	健康意識の向上	①	週に1回(30分以上)は運動をしている市民の割合	57.7%	56.3%	R7	66.0%	69.0%	C:大きな変化なし	策定時よりわずかに下がっているが、引き続き、様々な機会において、健康づくりに関する内容の取組や啓発を行っていく。
生活習慣病の予防	特定健診受診率の向上	②	特定健診受診率(※)	36.4%	41.5%	R7	50.0%	60.0%	B:改善	毎年度、より効果的な受診勧奨の内容を検討し実施することで、特定健診受診率が向上。策定時より改善しているが目標値と乖離しており、今後も効果的に勧奨を実施し、目標値に向けて取り組んでいく必要がある。
		③	3年連続未受診者割合(※)	42.8%	34.8%	R7	41.5%	40.0%	A:目標達成見込	目標値を達成できているが、引き続き、継続受診を促す勧奨を行っていく必要がある。
		④	特定健診未受診者かつ医療機関受診なしの者の割合(※)	39.0%	38.6%	R7	37.0%	35.0%	B:改善	策定時より改善しているが目標値は達成していないため、引き続き、特定健診受診率向上の取組とともに、対象者には医療機関受診も促していく。
		⑤	40歳代の健診受診率(※)	23.8%	25.2%	R7	25.0%	26.5%	A:目標達成見込	策定時より受診率が向上し、R8年度目標値は達成しているが、R11年度の目標値に向けて、引き続き、40歳代が受診しやすい環境を整え、効果的な受診勧奨を行っていく。
		⑥	特定保健指導実施(終了)率(※)	16.7%	16.4%	R6	38.5%	60.0%	C:大きな変化なし	特定保健指導対象者への勧奨の工夫、利用しやすい環境づくりを進めたが、計画策定時と横ばいであり、引き続き、実施率向上に向け、取組を進める。
	特定保健指導実施率の向上と質の高い保健指導の実施	⑦	特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率(※)	21.9%	21.3%	R6	24.0%	26.0%	C:大きな変化なし	委託業者との協議を重ね、行動変容継続のための指導機会の確保や情報提供に取り組んだが、策定時と比べ減少しており、引き続き、質の高い保健指導の実施に向け、保健指導にかかる分析・評価を進める。
		⑧	動機付け支援実施率	19.5%	19.1%	R6	40.0%	60.0%	C:大きな変化なし	特定保健指導対象者への勧奨の工夫、利用しやすい環境づくりを進めたが、策定時と横ばいであり、引き続き、実施率向上に向け、取組を進める。
		⑨	積極的支援実施率	7.5%	7.5%	R6	34.0%	60.0%	C:大きな変化なし	特定保健指導対象者への勧奨の工夫、利用しやすい環境づくりを進めたが、策定時と横ばいであり、引き続き、実施率向上に向け、取組を進める。
		⑩	胃がん検診受診率	1.8%	2.9%	R6	7.1%	12.5%	B:改善	受診しやすい環境づくりや、啓発方法の工夫により、受診率の向上に取り組んでおり、引き続き取組を進める。
	がん検診の受診率の向上	⑪	子宮頸がん検診受診率	12.7%	15.4%	R6	17.4%	22.1%	B:改善	受診しやすい環境づくりや、啓発方法の工夫により、受診率の向上に取り組んでおり、引き続き、取組を進める。
		⑫	乳がん検診受診率	12.5%	15.7%	R6	20.2%	27.8%	B:改善	受診しやすい環境づくりや、啓発方法の工夫により、受診率の向上に取り組んでおり、引き続き、取組を進める。
		⑬	大腸がん検診受診率	15.2%	17.5%	R6	19.0%	22.7%	B:改善	受診しやすい環境づくりや、啓発方法の工夫により、受診率の向上に取り組んでおり、引き続き、取組を進める。
		⑭	肺がん・結核検診受診率	19.3%	20.4%	R6	23.7%	28.1%	B:改善	受診しやすい環境づくりや、啓発方法の工夫により、受診率の向上に取り組んでおり、引き続き、取組を進める。
		⑮	高血糖者の割合(※)	9.5%	11.1%	R7	9.4%	9.2%	D:悪化	リスクが高い者を抽出し、生活習慣病に関する情報提供を行ったほか、生活習慣の改善に向けて気軽に相談できる機会等を提供したが、策定時より増加しており、引き続き、高血糖者をはじめとする生活習慣病のリスクが高い者への情報提供や、市民への啓発を進める。
	生活習慣病の早期発見・早期治療	⑯	血圧が保健指導判定値以上の方の割合(※)	49.3%	46.3%	R7	46.5%	44.0%	A:目標達成見込	リスクが高い者を抽出し、生活習慣病に関する情報提供を行ったほか、生活習慣の改善に向けて気軽に相談できる機会等を提供したことで割合が減少しており、引き続き、生活習慣病のリスクが高い者への情報提供や、市民への啓発を進める。

(※)は県との共通目標

◆中間評価の結果一覧(成果指標(全22項目))

方針	方向性	No.	成果指標	策定時	R8中間評価時		目標値		R8年度の目標値に対する評価 A:目標達成見込 B:改善 C:大きな変化なし D:悪化	
					実績値	年度	R8年度	R11年度		
生活習慣病の重症化予防	糖尿病性腎症および生活習慣病の重症化予防	⑰	糖尿病性腎症重症化予防対象者の医療機関受診率	38.2%	70.0%	R7	59.0%	80.0%	A:目標達成見込	訪問や電話等で、特定健診や医療機関の受診勧奨、かかりつけ医と連携した保健指導を行い、対象者には翌年度にも継続してアプローチすることにより、少しずつ医療機関受診に繋がった。引き続き、医療機関とも連携し、継続した受診勧奨や保健指導を行っていく。
		⑱	HbA1c8.0%以上の方の割合(※)	1.2%	1.2%	R7	1.1%	1.0%	C:大きな変化なし	策定時と比較すると大きな変化はないが、特定健診受診者の増加に伴い、新たに該当する方が増えたことが考えられ、今後も特定健診の受診勧奨とともに、ハイリスク者に対して医療機関受診勧奨や保健指導等のアプローチを行っていく。
		⑲	HbA1c6.5%以上の方のうち、糖尿病のレセプトがない方の割合(※)	15.9%	17.0%	R7	14.4%	12.9%	D:悪化	策定時より割合が増加しており、特定健診受診者の増加に伴い、新たに該当する方が増えたことが考えられ、今後も健診後の結果を確認し、医療機関の受診が必要な方に対して受診勧奨や保健指導を行い、受診に繋がるようアプローチを行っていく。
医療費の適正化	適正受診・適正服薬の推進	⑳	重複・頻回受診者、重複服薬者のレセプト改善率	50.0%	75.0%	R7	56.0%	62.0%	A:目標達成見込	訪問等による保健指導を行うことで、受診日数やレセプトの改善が見られているが、今後もレセプト改善率を維持・向上できるよう、対象者の生活状況や健康状態、医療機関受診状況等を丁寧に聞き取り保健指導を行うことで、適正な医療の受診や医療費適正化に繋げていく。
		㉑	ジェネリック医薬品の利用率	80.3%	89.9%	R7	80.5%	82.0%	A:目標達成見込	策定時から利用率が増加し、今後も利用率を維持・向上できるよう、滋賀県国民健康保険団体連合会と連携し、ジェネリック医薬品差額通知により啓発し医療費の軽減を目指す。
地域包括ケアおよびフレイル予防	地域資源を活用したフレイル予防	㉒	50歳以上74歳以下における咀嚼良好者の割合	77.4%	78.4%	R7	79.0%	80.5%	B:改善	一体的実施において、4課が連携し、健康寿命の延伸を目指し、国保と後期・保健衛生部門・介護部門・地域づくり部門が一体となって、ポピュレーションアプローチとともにハイリスクアプローチを実施し、生活習慣病予防やフレイル予防等の健康講座や保健指導等を行うことで、策定時より割合が改善。引き続き、フレイル予防の啓発や、フォローが必要な対象者への切れ目のない支援を実施していく。

(※)は県との共通目標

◆全体評価

- ・全体的には目標達成見込・改善しているものが多い結果となりましたが、改善していても目標値まで届いていない指標や大きな変化がなかった指標、悪化した指標もあったことから、引き続き、令和11年度の目標値の達成に向けて各取組を進めていきます。
- ・特定健診の受診率が向上しましたが、一方で、新規受診者の増加に伴い、メタボリックシンドローム該当者・予備軍や高血糖者の割合等が増加したことから、特定健診の受診勧奨とともに、受診結果に基づき、対象者には医療機関の受診勧奨や保健指導等のハイリスクアプローチをさらに進めていく必要があります。



中間評価・課題と今後の方向性

健康づくり

健康意識の向上

(評価・課題)

- ・健康推進員・市内飲食店や運動事業所と連携した取組ができた
- ・通いの場において、いきいき百歳体操やフレイル予防の周知啓発を実施
- ・通いの場や地域で役割をもち活動する人への情報提供を行った
- ・栄養教諭による各小中学校での栄養指導等の実施
- ・市民の健康意識の向上や運動習慣の定着を図る必要がある

(今後の方向性)

- ・いきいき百歳体操の立ち上げ支援・継続支援とフレイル予防の周知啓発
- ・健幸体験型イベントや公式SNSを活用した情報発信

生活習慣病の予防

生活習慣病の早期発見・早期治療

(評価・課題)

- ・リスクが高い者を抽出し、生活習慣病に関する情報提供を行った
- ・生活習慣の改善に向けて気軽に相談できる機会等を提供した
- ・引き続き、生活習慣病の発症予防に向けた取組が必要

(今後の方向性)

- ・健康情報の発信、糖尿病等の生活習慣病についての正しい知識の普及・啓発
- ・高血糖者や生活習慣病のリスクが高い者への情報提供

がん検診の受診率の向上

(評価・課題)

- ・受診しやすい環境づくりや、啓発方法の工夫を行った
- ・引き続き、受診率向上に向けた取組が必要

(今後の方向性)

- ・効果的な周知、受診行動を促すことができるような個別勧奨の実施
- ・精密検査対象者に対して、外部機関と協力した受診勧奨の実施

特定健診受診率の向上

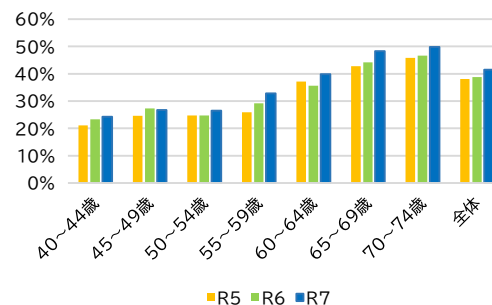
(評価・課題)

- ・分析に基づき効果的な受診勧奨を実施したことにより、全体の受診率が向上
- ・集団けん診の定員・日程の拡大や電子申請予約の導入により、新規受診者・40～50歳代の受診者が増加した
- ・治療中未受診者への勧奨が必要

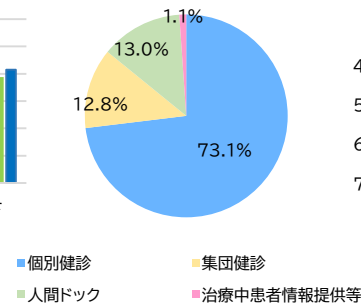
(今後の方向性)

- ・未受診者の特性にあわせた受診勧奨の実施
- ・新規受診の勧奨とともに、継続受診の勧奨の実施
- ・集団けん診において電子申請や託児サービス、定員や会場の設定等、受診しやすい環境の整備
- ・医療機関と連携した受診勧奨の実施

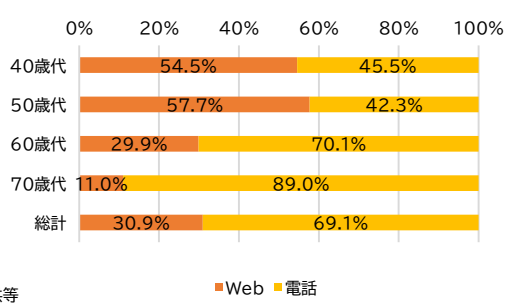
特定健診年齢別受診率



R7特定健診受診方法内訳



R7 集団けん診受診者の予約方法



生活習慣病の重症化予防

糖尿病性腎症および生活習慣病の重症化予防

(評価・課題)

- ・訪問や電話等で、特定健診や医療機関の受診勧奨を行い、かかりつけ医と連携した保健指導を実施できた
- ・特定健診受診後の医療機関未受診者が増加

(今後の方向性)

- ・経年的な対象者に対しても、継続したアプローチの実施
- ・医療機関受診が必要な方に対する受診勧奨や保健指導

医療費の適正化

適正受診・適正服薬の推進

(評価・課題)

- ・重複・頻回受診者等に対して、電話や訪問等で保健指導を実施し、受診日数やレセプト改善を図ることができた
- ・引き続き、対象者への保健指導を継続していく必要がある

(今後の方向性)

- ・適正な医療の受診や医療費適正化に繋がる保健指導
- ・医療費の軽減を目指したジェネリック医薬品差額通知による啓発

地域包括ケアおよびフレイル予防

地域資源を活用したフレイル予防

(評価・課題)

- ・一体的実施等とおして、庁内4課が連携し、ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチを実施し、生活習慣病予防やフレイル予防等の健康講座や保健指導等を実施することができた

(今後の方向性)

- ・フレイル予防の啓発
- ・フォローが必要な対象者への切れ目のない支援